

# LGBT+

# Guidelines

長崎大学

LGBT等性的マイノリティに関する  
対応ガイドライン



# わたしたちは みんなちがう。

趣味がちがう、特技がちがう。

笑いのつば、泣ける映画がちがう。

性格なんて全然ちがう。

性的指向や性自認も、

わたしたちはみんなちがう。

長崎大学は、少数派であることが  
ストレスにならないよう取り組みます。  
この取り組みに「関係がない人」は  
一人もいません。

なぜならこれは、あなたの話であり、  
家族の話であり、子どもの話であり、  
友達の話だからです。

わたしたちはみんなちがうという

あたりまえの認識を持つ人を、

世の中の大多数にしたいのです。

長崎大学の皆さん全員に

目を通してほしいガイドラインです。



# LGBT+ Guidelines

## 長崎大学の 性的少数者（LGBT等）の性自認 及び性的指向の多様性に関する 基本理念

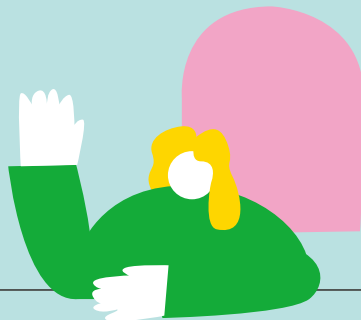
長崎は、歴史の舞台において「海外への窓口」としての役割を果たすなかで、多様性を受け入れる風土を醸成してきました。

ダイバーシティの尊重と推進を、今後の持続的発展のための必須の戦略と位置付ける長崎大学は、LGBT等の性的少数者の性自認や性的指向の多様性と権利を認識し、偏見と差別をなくすために努力することを基本方針として提示します。

長崎大学は、この基本方針を踏まえ、すべての学生や教職員の個性と能力が存分に発揮できる真のダイバーシティの実現を目指し、学修、研究及び就業の環境整備に取り組んでいきます。

## LGBT等性的マイノリティに関する対応ガイドライン

長崎大学では基本理念に基づき、以下の内容を、対応のガイドラインとして設定しています。



### I 相談窓口について

#### ① 相談窓口

本学では、ダイバーシティ推進センター、保健・医療推進センター、学生何でも相談室の3か所にLGBT等に関する相談窓口を設置しています。

ここでは、主に学生や教職員とその家族を対象としてLGBT等に関する相談を受け付けています。相談に際しては、守秘義務を遵守するとともに

相談者のプライバシーを尊重し、安心して相談できるように配慮いたします。また、「カミングアウトされたけれど、どうすればよいか分からない」「困っている当事者を知っているが、自分に何ができるか分からない」等の相談についても、下記3か所の窓口で相談することができます。

#### ② 連携体制

相談内容によって、学内外の機関と連携しながら対応いたします。連携の範囲や内容については事前に本人と確認し、本人の了承を得た上で関係機関と連携いたします。



内容に関係なく、相談しやすい窓口どうぞ。

### LGBT等の相談窓口

#### ①ダイバーシティ推進センター (おもやいセンター)

文教キャンパス

☎ 095-819-2889

omoyai\_soudan@ml.nagasaki-u.ac.jp



#### ②保健・医療 推進センター

文教キャンパス

☎ 095-819-2211

#### ③学生何でも相談室

文教キャンパス

☎ 095-819-2106

nandemo@ml.nagasaki-u.ac.jp

#### 調整・連携

必要に応じて、本人とともに

各学部・指導教員  
・実習委員長

ハラスメント  
防止委員会

障がい学生  
支援室

専門医療  
機関・病院

その他  
学外の機関

セルフヘルプ  
グループ

## Ⅱ 通称名の使用について

通称名の使用を希望する場合には「通称名使用許可申請書」をⅠ-①の項相談窓口へ提出してください。入学前でも構いません。面談の上、使用を認めるかを判断します。詳しくは下図をご参照ください。なお、性同一性障害による家庭裁判所の決定に基づく改氏名は、通常の改氏名の届出にて対応します。また、認められた通称名と戸籍の原本との相違に関する説明責任は当該学生が負うことになりますので、しっかり考えた上で申請してください。

通称名の使用を認められた者の学生名簿、学生証、学位記および各種証明書に記載する氏名は、原則として認められた通称名とします。通称名を使用する学生で、学位記に戸籍上の氏名の記載（あるいは併記）を希望する場合は、所定の申請書

により申請してください。また、保証人（保護者）に送付する成績証明書を含む各種証明書に戸籍上の氏名の記載（あるいは併記）を希望する場合は、所定の申請書により申請をしてください。

卒業・修了等時に通称名を使用していた学生に係る証明書等の氏名については、原則として卒業後等も通称名とします。ただし、性別違和等で本人に多大な負担が生じる等の相応の理由があると認められる場合には、本人が申し出た氏名による証明書を発行することもあります。まずはご相談ください。

通称名を使用する学生および卒業生等から、通称名の使用を認められている、または、認められていたことの証明の依頼があった場合は、所定の証明書を交付します。



### Ⅲ 性別の変更と性別情報の取扱

戸籍の性別の変更に伴う場合を除いて、学籍簿等での性別の変更は対応できません。

ただし、長崎大学では性別情報については当事者の意図しない形で公表されることがないように、

下記の通り、限られた範囲で取り扱います。また、慎重に取り扱われるよう、周知・徹底を図り、さらなる改善を目指します。

#### 受講者名簿

教員が使用する受講者名簿には原則として性別の記載はありません(2020年度以降)。また、学生に配付・掲示する名簿については、原則としていかなる文書についても性別欄を除外して配付・掲示するよう、全学的に周知・徹底を図ります。教員の会議等についても、性別情報を含む個人情報については慎重に取扱うことを進めます。

#### 性別による呼び分け

学生に配付・掲示する名簿に性別の記載がなくとも、教職員による性別による呼び分け(「～さん」、「～くん」、「Mr.～」、「Ms.～」)によって、本人の意図しない形で性別情報を外部に知らせてしまうことがあります。とくに大規模の講義など、相手のジェンダーアイデンティティが明確に分からない状況においては、すべて「～さん」または「～くん」に統一して呼ぶことが望ましいです。性別による呼び分けが不必要に行われないう周知・徹底を図ります。

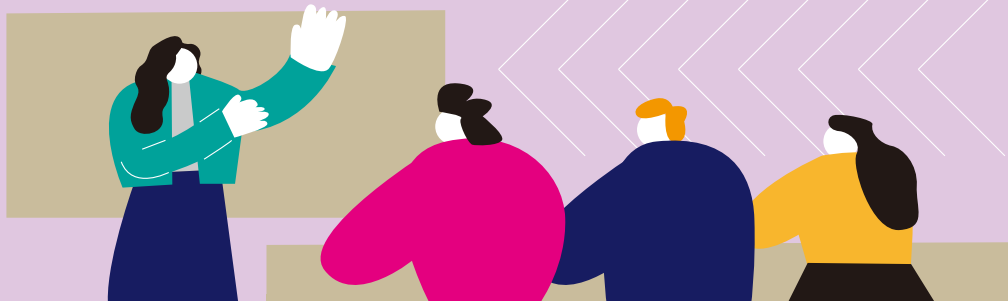
#### 大学の発行する書類の性別記載

長崎大学では名簿、申請書、証明書等の性別記載の必要性を見直し、多くの書類の性別欄をなくしています。現在、性別記載のある書類は以下の通りです。今後、性別記載のある書類についても、その記載のあり方と必要性について検討していきます。

- 合宿所や研修所(臨海研修所(子々川))の利用願
- 受講者名簿(2019年度以前のもの)
- 健康診断書(2019年度以前のもの)
- 学生団体設立願(様式内に学生団体構成員名簿を含む)(2019年度以前のもの)
- 通学証明書(一部の学部、2019年度以前のもの)

#### マイナンバー

長崎大学で短期雇用により雇用される場合等でマイナンバー関係の書類を提出する際、通知カードや個人番号カード等に含まれる性別欄は、その部分を隠してコピーし、提出することができます。





## 電車・バス通学定期券

大学近隣の電車・バスは、学生証にもとづいて定期券発行が可能です(2020年3月時点)。

### 長崎県営バス

☎ 095-822-5141 (運輸課)

### 長崎バス

☎ 095-826-1113

### 長崎電気軌道(路面電車)

☎ 095-845-4113

### JR九州

☎ 095-822-0063

☎ 050-3786-5154



## IV 授業について

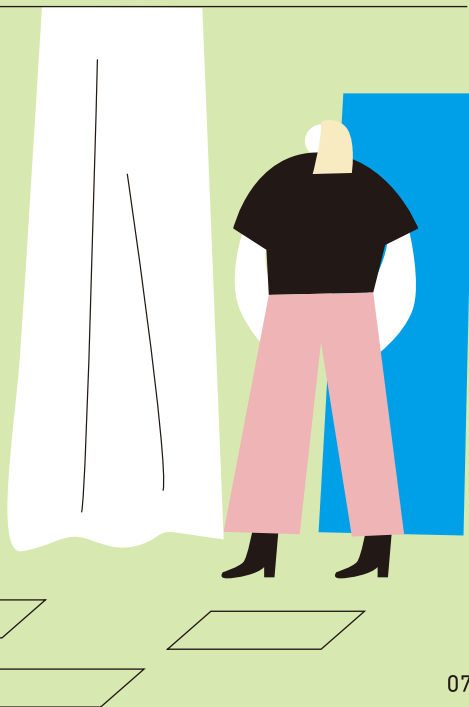
### ① 相談窓口

本学では、授業内容、グループ分け、用具の使用等において性別による区別が不必要に行われないう周知を図ります。更衣室については本ガイドラインの **V-②** の項をご確認ください。詳細は、**I-①** の項でご相談ください。

### ② 実習の履修

(教育実習、病院実習、乗船実習、学外実習等)

実習受け入れ先の体制や状況により必ずしも希望に添えるとは限りませんが、教育実習を含めた学外での実習で想定されるトイレや更衣室、服装等に関して事前に相談することができます。詳細は、**I-①** の項までご相談ください。



## V 学生生活について

### ① 定期健康診断

本学で実施する定期健康診断について、必要に応じて個別対応を事前に相談することができます。詳細は保健・医療推進センターまでご相談ください。

### ② 更衣室

事前の相談によりダイバーシティ推進センター（文教キャンパス）のスペースを更衣室として使うことができます。また、一部のトイレにフィッティングボードが備わっていますので、そちらを着替えにご利用ください。フィッティングボードの備わったトイレの場所についてはダイバーシティ推進センターのホームページに記載されています。

長崎大学では、個別の更衣室の設置について今後も検討していく予定です。

### ③ 多目的トイレ

本学には誰でも使用できる多目的トイレが設置されています。学内施設の多目的トイレの場所は、下記のダイバーシティ推進センターのホームページに記載されています。



### ④ 学生宿舎（ホルテンシア）・国際交流会館

宿舎の入居については、ホルテンシアは学生支援センター（学生何でも相談室）、国際交流会館は留学支援課までご相談ください。ただし、個別の状況により対応できないこともあります。

学生支援センター（学生何でも相談室）

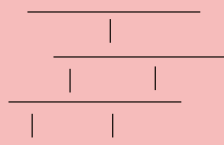
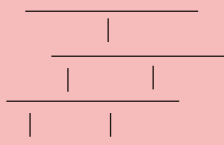
☎ 095-819-2106

E-mail: nandemo@ml.nagasaki-u.ac.jp

留学支援課の連絡先

☎ 095-819-2123

E-mail: ryugaku\_shien@ml.nagasaki-u.ac.jp





## Ⅵ 就職活動・留学

### ① 就職活動・インターンシップ

就職活動やインターンシップ、その他進路選択等における性にまつわる相談については、キャリアセンターと連携し、必要に応じた個別支援を行います。

#### キャリアセンターの連絡先

☎ 095-819-2101

E-mail: syusyoku@ml.nagasaki-u.ac.jp

### ② 留学

留学支援課では、留学先で必要とする生活環境や学習支援体制などの相談にも対応しています。留学プログラムの企画元や協定校によって受入れ状況が異なるため、事前に参加希望のプログラムや受入れ先の状況を調べるのが重要です。必ずしも希望に添えるとは限りませんが、留学を希望する学生でサポートを希望する場合は、留学支援課の職員に相談してください。

#### 留学支援課の連絡先

☎ 095-819-2123

E-mail: ryugaku\_shien@ml.nagasaki-u.ac.jp

## Ⅶ 教職員および学生への啓発

### ① 相談員に対する研修

本学では、ダイバーシティ推進センター、保健・医療推進センター、学生支援課、キャリアセンター、ハラスメント相談員、学生相談(何でも相談)員に対し、LGBT等性的マイノリティに関する研修を実施しています。

### ② 教職員および学生への啓発

本学では教職員に対し、LGBT等性的マイノリティに関する研修(ファカルティ・ディベロップメント[FD]またはスタッフ・ディベロップメント[SD])を実施しています。

学生に対しては、LGBT等性的マイノリティの抱える問題等について、各種講演会や授業での取り扱い状況等を紹介していきます。



## VIII 学外相談機関等（セルフヘルプグループ含む）

九州および関東・関西・中部地域のLGBT等性的マイノリティの団体をご紹介します。

地域	団体名	活動内容等	WEB
長崎	Take it! 虹	セクシュアリティに関らず、全ての人が、自分らしく生きやすい社会を目指し活動している団体。講演会、交流会、映画祭、パネル展。 e-mail: popopopotter@yahoo.co.jp	
福岡	NPO法人 Rainbow Soup	福岡・九州を拠点に、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）関連の情報発信・啓発活動に取り組むNPO法人。	 問合せフォームあり
	FRENS Fukuoka Rainbow Educational Networks	居場所作り、啓発活動IDAHO（アイダホ）、講演、相談対応。 TEL:080-9062-2416（毎週日曜 17～21時）	 問合せフォームあり
	GID LINK Gender Identity Disorder LINK	性同一性障害当事者と家族、友人、学校や社会、地域を絆で結ぶ自助団体。講演、研修会。	 問合せフォームあり
大分	SOGIE (LGBT) サポートチーム ココカラ!	セクシュアリティ（性のありよう）のことで悩んでいる人と繋がることや啓発活動を行う。	 問合せフォームあり
熊本	くまにじ	セクシュアルマイノリティも生きやすい熊本にするために活動するグループ。行政への働きかけ、公開学習会、研修、講演、パネル展等。	 問合せフォームあり
鹿児島	レインボーポート 向日葵	LGBT交流会 TEL:0993-24-5055 e-mail: life-support@ibutake.com	
東京 横浜	NPO法人 アカー 動くゲイとレズビアンのかい	世田谷区、東京市民ボランティア活動 TEL:03-3380-2229 （祝日を除く、火水木 20～22時） e-mail: occur@kt.rim.or.jp	
	認定NPO法人 ReBit	企業研修、行政研修など	 問合せフォームあり

地域	団体名	活動内容等	WEB
東京 横浜	NPO法人 レインボーコミュニティ coLLabo	レズビアンと多様な女性(性的少数者)のための活動をするNPO法人。 TEL:03-6322-5145 (毎月第1土曜日 13~15時)	
	NPO法人 ぶれいす東京	HIV/エイズとともに生きる人たちがありのままに生きられる環境(コミュニティ)を創り出すことをめざして活動している。相談、研修・講師派遣、イベント。 TEL[対面相談の予約窓口]: 03-3361-8964(毎週月曜-土曜 12~19時)	
	特定非営利活動法人 SHIP	同性愛者や性同一性障害などセクシャルマイノリティの支援を行うNPO法人。イベントの開催、相談、資料室あり。 TEL[SHIP・ほっとライン]: 045-548-3980(毎週木曜19~21時) TEL[カウンセリング予約]:045-306-6769	
東京 大阪	特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ	講演・研修、イベント、スキルアップ講座、調査研究、虹色グッズ販売など。	 問合せフォームあり
大阪	QWRC【くお-く】 Queer and Women's Resource Center	2003年4月にオープンしたLGBTなどの多様な性を生きる人やその周辺にいる人と、女性のためのリソースセンター。集会場所の提供、イベント開催、講演活動、情報発信、電話相談など。 e-mail:info@qwrc.org	 問合せフォームあり
	にじいろホットライン 一般社団法人富田林市 人権教育・啓発推進 センター運営	あらゆる差別の撤廃と人権の確立に向け、人権文化を育て根づかせることを目的とする一般財団法人。人権教育啓発講座の企画サポート、電話相談など。 TEL:0721-20-0285(第1-3土曜日 10~15時)	 問合せフォームあり
名古屋 全国	NPO法人 PROUD LIFE	名古屋・東海地域で活動する多様な生き方を認め合う社会を目指すNPO法人。電話相談事業と、各自助グループサークルづくりの活動。 TEL[レインボー・ホットライン]: 0120-51-9181(毎週月曜 19~22時)	
全国	一般社団法人 gid.jp 日本性同一性障害と 共に生きる人々の会	当事者支援活動・理解促進啓発活動・調査研究活動・提言要望活動・その他(性同一性障害当事者保険加入機会拡充事業) TEL:050-5236-1304(10~17時)	 問合せフォームあり

国立大学法人 長崎大学

文教キャンパス

〒852-8521 長崎市文教町1-14

ダイバーシティ推進センター(おもやいセンター)

tel:095-819-2889

mail: omoyai\_soudan@ml.nagasaki-u.ac.jp

わたしたちは  
みんなちがう。

